宮崎まさお

山形後援会便り　第 7 号（2025 年 2 月）

宮崎まさお議員との座談会（第2回）「農座の会in清流の里 Sagaegawa」盛会に開催される！

11 月 18 日に羽田1便で山形空港に到着し、本県2回目となる農座の会が寒河江川土地改良区を会場に開催されました。奥山理事長より土地改良区の

情勢及び先進的な取組みが紹介され、寒河江中郷地区や金谷地区の新規採択に向けた取組みについて地元役員と熱心な意見交換が行われました。地域内では、10 年後の地域農業の姿を見据えた「地域計画」づくりが行われており、規模拡大する担い手の選定や農地の出し手の調整など、正に地域一丸となった話合いが行われています。ここ寒河江川土地改良区では、農地中間管理機構が発足する前から農地流動化の業務を率先して取り組んでおり、先駆的な土地改良区として国から評価されています。宮崎議員も国政に反映すべく熱心の議論を交わしました。（頑張ってください！）

宮崎まさお議員との座談会（第3回）「農座の会in葉山の里 Murayama」盛会に開催される！

寒河江川土地改良区での開催に続き、村山西部土地改良区を会場とする農座の会が開催されました。

髙谷理事長から地域の特徴やほ場整備の実施状況などの説明を受け、大原南地区と大槙秋山地区の地元推進委員会や施工者の㈱黒田組からも参加いただき、担い手による営農計画や地域農業の課題について熱心な意見交換が交わされました。特に全国で話題となっている水活交付金（5年水張り）問題の背景や国の方向性など、中央での議論について丁寧な説明が行われ、参加者との一体感を強く感じることが出来ました。

宮崎まさお議員との座談会（第4回）「農座の会in鶴子六沢 Obanazawa」盛会に開催される！

六沢地区生涯学習センターを会場に、本日３会場目そして県内4回目となる「農座の会」が盛会に開催されました。ここ鶴子地域は、国営事業で整備された新鶴子ダムの直下流域に展開する中山間地域であり、整備中の鶴子六沢地区は周辺の未整備区域の「展示ほ場」としての役割を担っています。中核的な担い手による「スマート農業」の導入推進を図るため、大山建設㈱の全面協力のもと県内初となるICT 施工による農地のフル整備が行われました。整備された農地では、土地改良区理事でもある中核的な担い手のもとで自動走行農機によるスマート農業が展開され、展示ほ場としての役割をしっかりと果たしています。宮崎議員も山間地域にほど近いこの地での「スマート農業」に取り組む若手担い手の姿勢に、改めて土地改良事業の重要性を実感！

宮崎まさお議員との座談会（第5回）「農座の会in若鮎の里 Funagata」盛会に開催される！

令和7年2月14日に、宮崎議員の名代として後援会参与の宮崎敏行氏のもと、本県5回目となる農座の会が舟形町土地改良区を会場に開催されました。

管内で整備中の事業地区推進委員会の方々や舟形マッシュルームの長澤氏、施工者の㈱伊藤組、丸充建設㈱、㈲門脇産業の代表や常務の方々から参加いただき、水活交付金や水利権問題や JR 協議の大変さなど事業推進上の「現場の声」を持ち帰っていただきました。（すごく楽しかったとの声）